

氏名	宮 谷 克 也
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲 第 1294 号
学位授与の日付	平成 6 年 3 月 31 日
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学（二）専攻 （学位規則第 4 条第 1 項該当）
学位論文題目	Partial Purification and Characterization of dendritic Cell Differentiation Factor （樹状細胞分化因子の部分精製，及びその性質についての検討）
論文審査委員	教授 岡田 茂 教授 中山 睿一 教授 難波 正義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

共著らは、IL-2で刺激されたヘルパーT細胞が、単球性白血病細胞に樹状細胞様の分化を誘導する可溶性因子を産生していることを報告し、この因子を樹状細胞分化因子（DCDF）と名付けているが、今回、DCDFの分離精製を試み、その性質やヒト単球に与える効果を検討した。完全精製はできなかったが、DCDFは分子量30-35kDa、等電点約5.0の蛋白だった。部分精製されたDCDFは、ヒト単球やヒト単球性白血病細胞株THP-1においてHLA-DR抗原の発現を著明に増強し、この効果は既知のヒトサイトカインに対する中和抗体により中和されなかった。またDCDFは同種T細胞増殖応答（MLR）において、単球のT細胞増殖刺激活性を著名に増強するとともに、投与量依存性に単球のIL-1 β 及びIL-6産生を増強した。これらの結果は、DCDFが、単球の抗原提示能を増強する新しいサイトカインであることを示唆している。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、樹状細胞分化因子（DFDC）の部分精製を行い、その性質やヒト単球に与える効果を検討したものであるが、これらの結果は、DFDCが、単球の抗原提示能を増強する新しいサイトカインであることを示唆し、重要な知見を得たものとして価値ある業績で

あると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。